

清泉女子大学の財務報告

平成 19 年度決算の概要

学校法人会計基準では、会計年度の終了時に「資金収支計算書」「消費収支計算書」及び「貸借対照表」を作成することを必要としています。

このうち「消費収支計算書」は、当該会計年度の収入と支出の内容および均衡の状況を明らかにすることにより、学校法人の経営状況が健全であるかどうかを判断できる有力な材料となりうることから、本報告も当該計算書を中心に説明することにします。

消費収支計算書の概要

(1) 消費収入の部

学生生徒等納付金の他、期中本法人の総収入に当る帰属収入合計は、26 億 5,394 万 2 千円で、これから基本金組入額 2 億 4,421 万 9 千円を差し引いた消費支出に充当しうる資金としての消費収入の部合計は 24 億 972 万 3 千円となりました。

予算との対比では、帰属収入合計が 4,585 万 7 千円増加し、基本金組入額も 556 万 1 千円減少したことにより、消費収入の部合計は予算比 5,141 万 8 千円増加しました。

消費収入の部の科目別では、学生生徒等納付金が予算比 1,572 万 4 千円増加しました。手数料は、学部の入学志願者の増加により入学検定料等が予算比 1,473 万 8 千円増加しました。補助金は、特別補助金の教育学習方法等の改善や教育学術情報ネットワークの項目で予算より多く補助金を獲得できたことなどにより予算比 725 万 8 千円増加しました。

(2) 消費支出の部

人件費及び物件費（教育研究経費及び管理経費）を主とした消費支出の部合計は 22 億 6,138 万円で予算比 1 億 2,811 万 1 千円の減少となりました。物件費科目別では、消耗品費、旅費交通費、通信運搬費、印刷製本費、業務委託費など諸経費の支出の圧縮に努めた結果 8,079 万 6 千円減少しました。なお、今年度は、予備費 3,000 千万円は使用しておりません。

(3) 消費収支戻

消費収入の部合計から消費支出の部合計を差し引いた当年度の消費収支戻はプラス 1 億 4,834 万 3 千円となりました。この結果、前年度の繰越消費支出超過額 18 億 1,699 万 5 千円を加えた翌年度繰越消費支出超過額は 16 億 6,865 万 2 千円となりました。

予算との対比では消費収入が増加したうえに、消費支出の減少も大きく 1 億 7,952 万 9 千円改善しました。

(4) 基本金組入

平成 19 年度決算の基本金組入額の内容について説明します。

当期の基本金組入額は、2 億 4,421 万 9 千円となりました。この内訳は、第 1 号基本金組入額 1 億 3,235 万 8 千円、第 2 号基本金組入額 1 億円及び第 3 号基本金組入額 1,186 万 1 千円からなっています。

第 1 号基本金組入額は、日本私立学校振興・共済事業団からの借入金返済(9,443 万円)の他、教育用機器備品や図書費からなっています。また、第 2 号基本金への組入れは、1 号館校舎立替資金への組入れであり、第 3 号基本金への組入れは、学生厚生基金(奨学基金)、教育研究助成基金及び国際交流基金への組入れとなっています。

資金収支計算書の概要

資金収支計算書は、当該年度の教育・研究その他の活動に対応するすべての収入・支出の内容並びに支払資金のてん末を明らかにしたものです。

当該年度の収入の部合計は、前期繰越支払資金 24 億 2,904 万円を含めて 57 億 5,371 万 3 千円となり予算比 7,078 万円の収入増になりました。一方、当該年度の支出額の合計は、30 億 7,577 万 2 千円となり予算比 1 億 3,788 万 2 千円の支出減になりました。この結果、次年度繰越支払資金は、予算比 2 億 866 万 2 千円増の 26 億 7,794 万 1 千円になりました。

貸借対照表の概要

平成 20 年 3 月 31 日現在の総資産は 108 億 3,358 万 3 千円で前年度末比 1 億 6,471 万 2 千円増加しました。

一方総負債は 18 億 3,784 万 9 千円で前年度末比 2 億 2,785 万円減少しました。

この結果、純資産(総資産 総負債)は 89 億 9,573 万 4 千円となりました。